Applicant Guidelines

Graduate School of Education
Master's Program / Professional Degree Program

2025

令和7（2025）年度

学生募集要項

兵庫教育大学大学院
学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程（教職大学院）

8月選抜試験日
令和6年　8月17日（土）、18日（日）

11月選抜試験日
令和6年　11月16日（土）

3月選抜試験日
令和7年　3月1日（土）

HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION
国立大学法人
兵庫教育大学

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院学校教育研究科

兵庫教育大学大学院学校教育研究科は、教員をはじめとした学校教育に関わる教育専門職の資質能力の向上に対する社会的要請に応えるため、専攻・コースの求める人物像に基づいて、現職教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた高度な研究、研鑽の機会を確保し、学校現場に密接に関連した実践的な教育研究を行うことを基本的な目的としています。

修士課程

１．目的

学校教育研究科（修士課程）は、学校教育に関する実践的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から､実践力に優れた新人教員の養成まで､キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

２．求める人物像

教育にたずさわることへの使命感と熱意をもち、自らの資質能力の向上を志向する教員等や、高い専門性と実践力をもった初等・中等教育教員等になることを強く志向する人

３．入学者選抜の基本方針

筆記試験、口述試験及び出願書類等の評価を総合して専門性及び適性に優れた人を選抜します。

［人間発達教育専攻］

１．目的

人間発達教育専攻は、今日の多様化する学校教育の諸課題を踏まえ、教育学、心理学をはじめとする関連諸科学を基盤に、学校教育を核として生涯発達や家庭や地域との連携の視点を含んだ人間の発達教育に関する総合的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

２．求める人物像

教育学、心理学をはじめとする関連諸科学の基礎的知識を有し、高度な理論と実践的能力及び教育的指導力を高めようとする意欲がある人

３．入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学、心理学をはじめとする関連諸科学の基礎となる知識や技能

［特別支援教育専攻］

１．目的

特別支援教育専攻は、障害のある児童生徒に対する支援力が身に付くよう、障害児の発達とその特性の理解に基づいた支援を目指し、障害児の教育、心理、生理と病理、指導法の教育研究を行うことにより、高い専門性と実践力を発揮することができる教育実践者の育成を行います。また、発達障害児を支援するための個別的指導、通常学級での授業の工夫、特別支援教育コーディネーター活動など実践的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

２．求める人物像

特別支援教育の関連諸科学の基礎的知識を有し、高度な理論と実践的能力及び教育的指導力を高めようとする意欲がある人

３．入学前に学習しておくことが期待される内容

特別支援教育の関連諸科学の基礎となる知識や技能

専門職学位課程〔教職大学院〕

［教育実践高度化専攻］

１．目的

学校教育研究科（専門職学位課程）は、高度の専門性が求められる教職を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、学校現場における実践力や応用力などの資質能力を身に付けた指導的教員から、学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を養成することを目的としています。

２．求める人物像

・地域や学校における指導的役割を果たし得る教員等として不可欠な確かな指導理論、及び優れた実践力や応用力を備えたスクールリーダーになることを志向する教職経験者

・学部段階で修得した資質能力に加え、新しい学校づくりの有力な一員となり得るより実践的な指導力を備えた教員を志向する人

・日本以外の国・地域で修得した資質能力を基盤として、日本型教育を学び、広く教育の向上に貢献することを志向する人

３．入学者選抜の基本方針

筆記試験、口述試験及び出願書類等の評価を総合して専門性及び適性に優れた人を選抜します。

４．入学前に学習しておくことが期待される内容

【教職経験者】

地域や学校における教育活動に関する専門的な知識、技能及び実践的指導力

【教職経験者以外】

学校教育に関して、基礎となる知識や技能

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜のほか、入学手続業務、入学料等免除の選考及び奨学金貸与の選考に使用し、これ以外の目的に用いることはありません。

ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

入学者選抜関係日程一覧

［８月選抜］（注１）

出願期間		令和６年７月３日（水）～ 令和６年７月10日（水）〔必着〕
オンライン接続チェック		令和６年８月５日（月）～７日（水）のうち、 大学が指定した日時
試験日	口述試験（オンライン面接） （臨床心理学コース（昼間クラス））	令和６年８月17日（土）（注２）（注３） 及び８月18日（日）
	口述試験（オンライン面接） （臨床心理学コースを除く）	令和６年８月18日（日）（注３）
合格者発表		令和６年９月６日（金）午前10時（注４）

（注１）８月選抜では、臨床心理学コース（フレックスクラス）及び障害科学コース（フレックスクラス）は募集を行いません。
（注２）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（８月24日（土））に試験を実施することがあります。
（注３）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（８月25日（日））に試験を実施することがあります。
（注４）予備日に試験を実施するコースがあった場合は、９月13日（金）午前10時に発表します。

※臨床心理学コース（昼間クラス）の８月選抜は、試験日の両日にわたり選抜試験を実施するため、両日とも受験する必要があります。

［11月選抜］

出願期間		令和６年10月２日（水）～ 令和６年10月９日（水）〔必着〕
オンライン接続チェック		令和６年11月５日（火）～７日（木）のうち、 大学が指定した日時
試験日	口述試験（オンライン面接） （全てのコース）	令和６年11月16日（土）（注５）（注６）
合格者発表		令和６年11月29日（金）午前10時（注７）

（注５）志願者数により、一部受験者は11月17日（日）に試験を行う場合があります。
（注６）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（11月23日（土）又は11月24日（日））に試験を実施することがあります。
（注７）予備日に試験を実施するコースがあった場合は、12月６日（金）午前10時に発表します。

［３月選抜］（注８）

出願期間		令和７年１月15日（水）～ 令和７年１月20日（月）〔必着〕
オンライン接続チェック		令和７年２月14日（金）、17日（月）、18日（火） のうち、大学が指定した日時
試験日	口述試験（オンライン面接） （臨床心理学コースを除く）	令和７年３月１日（土）（注９）
合格者発表		令和７年３月14日（金）午前10時

（注８）３月選抜では、臨床心理学コースは募集を行いません。
（注９）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（３月４日（火））に試験を実施することがあります。

（オンライン接続チェックは、試験の一環として実施するものになるので、オンライン接続チェックを欠席した場合は試験日の口述試験（オンライン面接）は受験できません。）

目　　次

令和７年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）学生募集要項

1　募集方法 …… 1

2　専攻・コース別学生募集人員 …… 1

3　標準修業年限 …… 4

4　出願資格 …… 4

5　出願手続 …… 5

6　出願資格に関する事前審査 …… 8

7　第２志望の選択について …… 9

8　選抜方法 …… 11

9　試験の日程 …… 20

10　合格者の発表 …… 21

11　入学手続 …… 21

12　障害等のある入学志願者との事前相談 …… 21

13　その他の留意事項 …… 22

14　神戸キャンパスの授業時間及び授業方法等 …… 23

15　長期履修学生制度の利用 …… 24

16　小中連携教育プログラム …… 24

17　理数系教員養成特別プログラム …… 26

18　ダブルディグリープログラム …… 27

19　国際貢献型留学生の募集について …… 28

令和７年度 兵庫教育大学大学院
学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）学生募集要項

１　募集方法

募集方法については、入学定員を３回の選抜試験（８月選抜、11月選抜及び３月選抜）に分割して募集します。８月・11月選抜で年間の募集人員に達したコース・分野においては、３月選抜での募集を行わないことがあります。なお、３月選抜実施後、定員に達していない場合は、追加募集を行うことがあります。

２　専攻・コース別学生募集人員

課程	専攻	コース	クラス（注１）	募集人員（注２・３） 8月選抜	11月選抜	3月選抜	計	入学定員
修士課程	人間発達教育専攻（注４）	教育コミュニケーションコース	昼間クラス	７人	３人	若干人	10人	115人
			フレックスクラス					
		幼年教育・発達支援コース	昼間クラス	７人	３人	若干人	10人	
			フレックスクラス					
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	昼間クラス	10人	10人	若干人	20人	
			フレックスクラス					
		臨床心理学コース（注５）	昼間クラス	21人	11人	募集しない	40人	
			フレックスクラス	(募集しない)	８人			
		芸術表現系教育コース（注６）	昼間クラス	10人	５人	若干人	15人	
			フレックスクラス					
		生活・健康・情報系教育コース	昼間クラス	14人	６人	若干人	20人	
			フレックスクラス					
	特別支援教育専攻（注４）	障害科学コース（注７）	昼間クラス	15人	５人	若干人	20人	30人
			フレックスクラス	(募集しない)				
		発達障害支援実践コース（注８）	昼間クラス	８人	２人	若干人	10人	
小計				92人	53人		145人	145人

修士課程・専門職学位課程の両課程において、留学生の募集を行います。
このうち専門職学位課程の教育方法・生徒指導マネジメントコース、言語系教科マネジメントコース、社会系教科マネジメントコース、理数系教科マネジメントコース、グローバル化推進教育リーダーコースでは、日本型教育を学び主に母国における教育の向上に貢献することを目指す留学生の方を、各選抜において若干人募集します。（国際貢献型留学生）
※詳細は、28ページをご覧ください。

（注１）昼間クラス及びフレックスクラスのあるコースは昼夜開講制であり、昼間クラス（臨床心理学コースは除く）は、兵庫教育大学加東キャンパス（加東市下久米）で対面及び遠隔・オンライン（同期型）による講義等を開講します。フレックスクラスは、主に兵庫教育大学神戸キャンパス（神戸市長田区、23ページ参照）において、夜間に対面（土日等の集中講義含む）及び遠隔・オンライン（同期型）・オンデマンド（非同期型）による講義等を開講するクラスです。詳細は大学院案内をご参照ください。
※臨床心理学コースの昼間クラスは、神戸キャンパスにおいて講義等を行います。
※教育政策リーダーコースは、勤務地域または神戸キャンパスにおいて講義等を行います。
なお、フレックスクラスでは、長期履修学生制度（24ページ参照）を利用することが可能です。

（注２）フレックスクラスの募集人員は、各コース若干人とします。（フレックスクラスの募集人員を設定しているコースを除く）

課程	専攻	コース	クラス（注１）	募集人員（注２・３） 8月選抜	11月選抜	3月選抜	計	入学定員
専門職学位課程	教育実践高度化専攻（注４）	学校経営コース（注10）	昼間クラス	10人	5人	若干人	15人	155人
			フレックスクラス					
		教育方法・生徒指導マネジメントコース（注９・11）	昼間クラス	15人	10人	若干人	25人	
			フレックスクラス					
		言語系教科マネジメントコース（注６・９・12）	昼間クラス	12人	7人	若干人	19人	
			フレックスクラス					
		社会系教科マネジメントコース（注９・13）	昼間クラス	10人	7人	若干人	17人	
			フレックスクラス					
		理数系教科マネジメントコース（注６・９・14）	昼間クラス	20人	若干人	若干人	20人	
			フレックスクラス					
		小学校教員養成特別コース（３年制コース）（注15）	昼間クラス	20人	10人	若干人	30人	
		小学校教員養成特別コース（２年制コース）（注16）	昼間クラス	5人	若干人	若干人	5人	
		グローバル化推進教育リーダーコース（注９・11）	昼間クラス	7人	若干人	若干人	7人	
			フレックスクラス					
		教育政策リーダーコース（注17）	フレックスクラス	7人	若干人	若干人	7人	
		授業実践課題探究コース（注９）	フレックスクラス	7人	3人	若干人	10人	
小計				113人	42人		155人	155人
合計				205人	95人		300人	300人

（注３）８月選抜及び11月選抜において、合格者が募集人員に達しない専攻・コースがあるときは、当該欠員数を次の選抜試験の募集人員に上乗せして募集します。また、募集人員の上乗せが生じた場合は、11月選抜は令和６年９月６日（金）（予備日に試験を実施した場合は９月13日（金））、３月選抜は令和６年11月29日（金）（予備日に試験を実施するコースがあった場合は12月６日（金））にそれぞれ Web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において公表します。

（注４）日本国籍を有しない外国人留学生については、次の資格を取得した者を募集します。
・「日本語能力試験」Ｎ２（2009年以前にあっては２級）に合格している者
・「日本留学試験（日本語）」で200点以上の成績を収めた者
なお、以下の①②のいずれかに該当する者は日本語能力に関する資格の提出は必要ありません。
①在留資格が「永住者」若しくは「特別永住者」の者
②日本の４年制大学を卒業（卒業見込み含む）した者、国費外国人留学生

（注５）**臨床心理学コースのフレックスクラス**は、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者を募集します。
(1) 教職経験を有する者（養護教諭・特別支援学校教諭及び特別支援学級の担当教諭、司書教諭、栄養教諭を含む）
※教職の経験年数は問いません。また、７ページ（注２）で定める教職経験者に該当しない者でも、教職の経験がある者は出願が可能です。
〔提出書類：在職期間証明書（所定の用紙）〕
(2) 医療・保健、教育、福祉、産業・労働、司法領域において対人援助職の経験を有する者
〔提出書類：業務内容証明書（任意様式）。ただし、業務内容が法令等により規定されている国家公務員は、法令等を提出することで業務内容証明書に代えることができます。〕
(3) 心理支援関連資格を持ち、対人援助職の経験を有する者（産業カウンセラー、認定心理士、学校心理士、臨床発達心理士、ガイダンスカウンセラー）
〔提出書類：①心理支援関連の資格証明書の写し、②業務内容証明書（任意様式）〕

＊上記(1)～(3)のいずれについても、勤務形態（常勤・非常勤の別）は問いません。

（注６）**芸術表現系教育コース、言語系教科マネジメントコース**及び**理数系教科マネジメントコース**における合否の判定は、次の区分ごとに行います。
芸術表現系教育コース：音楽、美術
言語系教科マネジメントコース：国語、英語
理数系教科マネジメントコース：数学、理科

（注７）**障害科学コースのフレックスクラス**は、就学前教育・初等中等教育機関（特別支援学校を含む）で勤務する現職教員で、かつ、３年以上の教職経験を有する者を募集します。
※教職経験を有する者の定義については、７ページ（注２）をご覧ください。

（注８）**発達障害支援実践コース**は、次のいずれかの教員免許状取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。
・幼稚園教諭
・小学校教諭
・中学校教諭（教科は問わない）
・高等学校教諭（教科は問わない）

（注９）**教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラス（学校経営コース及び教育政策リーダーコースを除く）**は、５年以上の教職経験を有する者を募集します。
※教職経験を有する者の定義については、７ページ（注２）をご覧ください。

（注10）**学校経営コース**は、出願時点において、学校教育法施行規則第20条に定める「教育に関する職」（学校事務職員や国・自治体の教育行政職員等を含む）を経験した者（経験年数は問いません）を募集します。なお、フレックスクラスを志望する者は、学校教育法施行規則第20条に定める「教育に関する職」を経験したことを申告する書類（所定の様式）を出願書類と併せて提出してください。

（注11）**教育方法・生徒指導マネジメントコース**及び**グローバル化推進教育リーダーコース**は、次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。（国際貢献型留学生（28ページ）の志願者を除く）
・小学校教諭
・中学校教諭（教科は問わない）
・高等学校教諭（教科は問わない）

（注12）**言語系教科マネジメントコース**は、次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。（国際貢献型留学生（28ページ）の志願者を除く）

【「国語」を志願する者】	【「英語」を志願する者】
・小学校教諭	・小学校教諭
・中学校教諭（国語）	・中学校教諭（英語）
・高等学校教諭（国語）	・高等学校教諭（英語）

ただし、言語系教科マネジメントコース（国語）を志望し、次の⑴又は⑵のいずれかに該当する者は、上述で定める中学校もしくは高等学校の教員免許状の教科を「国語」に限定することなく出願を可とします。
⑴　次の㈠～㈢のいずれかを満たし、かつ、日本語学校等の教育機関で日本語教育の実務経験が３年以上ある者
㈠　現行の「日本語教育能力検定試験」に合格した者
㈡　日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420時間以上受講し、これを修了した者
㈢　大学または大学院で日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得した者
⑵　初等中等教育機関（特別支援学校を含む）において「日本語指導担当教員」の分掌に関わる者

（注13）**社会系教科マネジメントコース**は、次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。（国際貢献型留学生（28ページ）の志願者を除く）
・小学校教諭
・中学校教諭（社会）
・高等学校教諭（地理歴史又は公民）

（注14）**理数系教科マネジメントコース**は、次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。ただし、教員免許状を取得していない場合でも、理数系教員養成特別プログラムを併せて申請することで出願は可能ですが、入学に際しては理数系教員養成特別プログラムの選考を受けていただいたうえで、受講を許可される必要があります。（国際貢献型留学生（28ページ）の志願者を除く）

【「数学」を志願する者】	【「理科」を志願する者】
・小学校教諭	・小学校教諭
・中学校教諭（数学）	・中学校教諭（理科）
・高等学校教諭（数学）	・高等学校教諭（理科）

（注15）**小学校教員養成特別コース（３年制コース）**は、大学卒業者（卒業見込みを含む）又は社会人で、小学校教諭の教員免許状を持たない者を募集します。

（注16）**小学校教員養成特別コース（２年制コース）**は、大学卒業者（卒業見込みを含む）又は社会人（現職派遣及び７ページ（注２）で定める教職経験者を除く）で、小学校教諭の教員免許状を取得済みの者又は令和７年３月までに取得見込みの者を募集します。

（注17）**教育政策リーダーコース**は、現に地方教育行政の職についている者、または教育機関、官公庁、民間企業等で10年以上（令和７年４月１日現在）勤務し地方教育行政の職に就くことを希望する者を募集します。

３　標準修業年限

２年（小学校教員養成特別コース（３年制コース）は長期在学制度を活用した３年）

４　出願資格

次の⑴から⑼のいずれかに該当する者

⑴　大学を卒業した者又は令和７年３月までに卒業見込みの者

⑵　学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者又は令和７年３月までに授与される見込みの者

⑶　外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は令和７年３月までに修了見込みの者（注１）

⑷　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和７年３月までに修了見込みの者

⑸　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和７年３月までに修了見込みの者

⑹　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記⑸の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和７年３月までに授与される見込みの者

⑺　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者（平成17年文部科学省告示第169号参照）

⑻　文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号参照）（注２）

⑼　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの又は令和７年３月31日までに22歳に達するもの（注３）

（注１）大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、相当期間研究に従事し、かつ、22歳に達し、又は令和７年３月31日までに22歳に達するもので、本学大学院において我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたものは、出願することができます。
　該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795－44－2067、E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp）へ連絡してください。

（注２）文部科学大臣の指定した者に該当する者は、次に掲げる者等が該当します。
ア　大学を卒業していない者であって、教育職員免許法による幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は１種免許状を有する者又は令和７年３月31日までに取得見込みの者で、22歳に達したもの又は令和７年３月31日までに22歳に達するもの
イ　旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は１種免許状を有するもの
ウ　旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び３年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの
　該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795－44－2067）へ連絡してください。

（注３）個別の入学資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」です。なお、これにより出願しようとする場合は、８ページの「６　出願資格に関する事前審査」により別途出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意してください。
　該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795－44－2067）へ連絡してください。

5　出願手続

⑴　出願書類等

	書類等	提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所定の用紙によること。 ※教育政策リーダーコースの志願者は、教育政策リーダーコース用の用紙によること。
2	受験票、写真票	全員	ア　所定の用紙によること。 イ　それぞれに、所定の事項を記入し、裏面に氏名を書いた写真（上半身、脱帽、正面向き、画像に加工を施していないもので、出願前３か月以内に撮影した縦４㎝×横３㎝のもの）を貼り付けること。
3	卒業（見込み）証明書 ※出願時点で発行日が１年以内のものに限る	全員	ア　大学を卒業した者又は卒業見込みの者 出身大学の学長又は学部長が作成した「卒業（見込み）証明書」を提出すること。（修士・専門職学位、博士課程を修了している場合も大学（学部）の「卒業証明書」を提出すること） イ　上記以外の者 最終学校の卒業証明書又は学位授与証明書等出願資格に関わる証明書を提出すること。
4	成績証明書 ※出願時点で発行日が１年以内のものに限る	全員 （教職経験者*を除く。）	ア　出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出すること。 イ　編入学により入学し、大学を卒業（見込み）の者は、編入前の大学等の成績証明書も併せて提出すること。
5	教育職員免許状授与証明書 ※出願時点で発行日が１年以内のものに限る	該当者 （４ページの「4 出願資格の⑻」に該当する資格により出願する者）	該当する免許状を授与された都道府県教育委員会から交付された「教育職員免許状授与証明書」を提出すること。 ※大学を卒業した者及び卒業見込みの者については、提出を要しない。
6	専攻・コース志望調書（第１志望用）	全員	所定の用紙によること。 （第１志望の専攻・コースのものを提出すること。） ※教育政策リーダーコースの志願者は、教育政策リーダーコース用のものを提出すること。 留学生は、用紙裏面「記入上の注意」４及び６⑵の内容についても留意のうえ、記入すること。 ※ Word による作成も可。〔７ページ（注３）参照〕
7	専攻・コース志望調書（第２志望用）	該当者 （第２志望のある者）	所定の用紙によること。 （第２志望の専攻・コースのものを提出すること。） **派遣研修制度による現職教員で、臨床心理学コースを第１志望とする者は、必ず第２志望まで選択し、提出すること。** 留学生は、用紙裏面「記入上の注意」４及び６⑵の内容についても留意のうえ、記入すること。 ※ Word による作成も可。〔７ページ（注３）参照〕
8	同意書	現職者	現に学校、官公庁又は会社等に在職している者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者（派遣研修制度又は大学院修学休業制度の利用が認められた者を含む）は、任命権者等（例えば、幼稚園、小・中学校及び高等学校の教員にあっては教育委員会等）の同意書を提出すること。 なお、大学院修学休業制度の利用を教育委員会に申請中（又は申請予定）の場合は、出願時には９を提出のうえ、当該教育委員会から利用許可が得られ次第、同意書又は許可通知書の写し等の利用が認められたことを証明する書類を提出すること。〔７ページ（注４）参照〕 ※フレックスクラスの志願者については、提出を要しない。

＊教職経験者については、７ページ（注２）を参照してください。

書類等		提出該当者	摘要
9	在職期間証明書 （派遣研修制度又は大学院修学休業制度の利用が認められた者を除く。）	教職経験者*（学校経営コース（フレックスクラス）及び教育政策リーダーコースを志望する者を除く）	所定の用紙によること。（在職機関の長が発行し、教職経験期間３年以上（教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラスは５年以上）が確認できるもの） なお、以下の者も提出すること。 ・大学院修学休業制度申請中又は申請予定の者〔７ページ（注４）参照〕 ・フレックスクラスを志願する者 ・臨床心理学コース（フレックスクラス）を志望し、２ページ（注５）の(1)に該当する者
		言語系教科マネジメントコース（国語）を志望し、3ページ（注12）の(1)に該当する者	所定の用紙を用いて、３ページ（注12）の(1)の出願要件が確認できるものを提出すること。（在職機関の長が発行したもの）
		教育政策リーダーコースを志望する者	所定の用紙を用いて、３ページ（注17）の出願要件が確認できるものを提出すること。（在職機関の長が発行したもの）
10	職歴に関する申告書	学校経営コースのフレックスクラスを志望する者	本学 Web サイトに掲載する所定の用紙をダウンロード〔７ページ（注３）参照〕のうえ、提出すること。〔３ページ（注10）参照〕 ※パソコン入力による作成も可。（署名欄は自筆すること）
11	日本語教師資格要件に関する証明書の写し	言語系教科マネジメントコース（国語）を志望し、3ページ（注12）の(1)に該当する者	３ページ（注12）の(1)(ア)～(ウ)の出願要件が確認できる証明書の写しを提出すること。
12	業務内容証明書	臨床心理学コース（フレックスクラス）を志望し、2ページ（注５）の(2)又は(3)に該当する者	任意様式により、２ページ（注５）の(2)又は(3)の出願要件が確認できるものを提出すること。（在職機関の長が発行したもの） なお、２ページ（注５）の(2)に該当する者で、業務内容が法令等により規定されている国家公務員は、法令等を提出することで業務内容証明書に代えることができる。
		言語系教科マネジメントコース（国語）を志望し、3ページ（注12）の(2)に該当する者	任意様式により、３ページ（注12）の(2)の出願要件が確認できるものを提出すること。（在職機関の長が発行したもの）
13	心理支援関連の資格証明書の写し	臨床心理学コース（フレックスクラス）を志望し、2ページ（注5）の(3)に該当する者	２ページ（注５）の(3)の出願要件が確認できる資格証明書の写しを提出すること。
14	「日本語能力試験」又は「日本留学試験(日本語)」の成績に関する証明書	2ページ（注4）に該当する外国人留学生	公益財団法人日本国際教育支援協会若しくは独立行政法人国際交流基金による「日本語能力試験」Ｎ２（2009年以前にあっては２級）の成績に関する証明書又は独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験（日本語）」の200点以上の成績に関する証明書
15	受験票等送付用封筒	全員	ア　所定の封筒（表面に「受験票在中」と記載してあるもの）によること。 イ　郵便番号、住所、氏名を記入し、~~400円分~~の切手を貼り付けること。 480円分
16	志願者名票、あて名票	全員	所定の用紙によること。

※令和6年10月1日からの郵便料金の値上げに伴い、切手の代金が変更となりました。

書類等		提出該当者	摘要
17	在留カードの写し	日本に在住する外国人	日本に在住する外国人は、在留カード両面の写し（在留資格・在留期間を明記したもの）を提出すること。
18	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。
19	外部検定試験の成績に関する証明書	言語系教科マネジメントコース(英語)	外部検定試験を利用する方は、該当する証明書等（教職経験者を除く）を提出すること。〔17ページ（注）参照〕
20	検定料納付確認票	全員 （国費外国人留学生及び7ページ(注5)に該当する者を除く。）	所定の用紙に氏名を記入し、ア又はイのいずれかの書類を貼り付けて提出すること。 ア　郵便局・ゆうちょ銀行でのお支払いの場合 検定料払込用紙の「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受付局日附印のないものは無効） イ　コンビニエンスストアでのお支払いの場合 収納証明書
21	検定料 30,000 円 ※支払い時に別途手数料が必要	全員 （国費外国人留学生及び7ページ(注5)に該当する者を除く。）	ア又はイのいずれかの方法により納付すること。 ア　郵便局・ゆうちょ銀行でのお支払いの場合 ①検定料払込用紙に住所、氏名を記入し、払い込むこと。 ②検定料の払い込み後、「振替払込受付証明書（お客様用）」を「20　検定料納付確認票」に貼り付けて提出すること。 イ　コンビニエンスストアでのお支払いの場合 ①本学 web ページ（https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/payment/）へアクセスし、支払番号を取得すること。 ②コンビニエンスストア〔7ページ（注6）参照〕にて支払手続きを行うこと。 ③収納証明書を「20　検定料納付確認票」に貼り付けて提出すること。 ※大規模な自然災害で被災された方を対象に、令和7年度入学試験にかかる検定料免除の特別措置を講じます。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/kenteiryomenjyo.php

（注1）出願書類のうち、日本語以外で記載した証明書等には、すべて日本語訳を添付してください。

（注2）「教職経験者」とは、初等中等教育（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）における、常勤もしくは常勤相当の勤務形態の教職経験を3年以上（令和7年4月1日現在）有する者をいいます。（教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラス（学校経営コース及び教育政策リーダーコースを除く）は、常勤もしくは常勤相当の勤務形態の教職経験を5年以上有する者を募集します。）
※「常勤相当の勤務形態」とは、週4日以上または週15時間以上の勤務形態を指します。
なお、教職経験には次の期間（ただし、休職期間は除く）を含みます。
・認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）の保育経験の期間
・保育所（無認可のものを除く。）の保育経験の期間
・平成10年6月以降に学校栄養職員として勤務した期間

（注3）本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）からフォーマットをダウンロードし作成することができます。その際は、必ず両面印刷したものを提出してください。

（注4）派遣研修制度、大学院修学休業制度の概要は以下のとおりです。
派遣研修制度：教育委員会等から同意を得て、教員の身分を保有したまま大学院に在学し、研修を行う制度です。給与等は支給されますが、職務には従事しないというものです。
大学院修学休業制度：教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成12年4月28日法律第52号）により、一定の要件を満たす国公立学校の教員に対して、専修免許状を取得するため1年を単位とする3年を越えない期間、大学院に在学し、研修を行うため休業ができる制度です。休業中の教員は、給与は支給されませんが、教員の身分を保有し、職務には従事しないというものです。

（注5）兵庫教育大学学校教育学部を令和7年3月に卒業見込みの者で、本研究科に引き続き進学する者は、徴収しないものとします。

（注6）利用できるコンビニエンスストアは次のとおりです。
・セブン－イレブン　・ローソン　・ファミリーマート

⑵　出願方法

志願者は、出願書類等を一括し、本学所定の出願用封筒を用いて、**希望する選抜試験に応じた次の出願期間中に必ず「書留・速達」により郵送してください。**

ア　出願期間

［８月選抜］　令和６年７月３日（水）　～　令和６年７月10日（水）【必着】

（注）出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送期間を十分考慮して送付してください。

※受験票は８月１日（木）までに送付します。

［11月選抜］　令和６年10月２日（水）　～　令和６年10月９日（水）【必着】

（注）出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送期間を十分考慮して送付してください。

※受験票は11月１日（金）までに送付します。

［３月選抜］　令和７年１月15日（水）　～　令和７年１月20日（月）【必着】

（注）出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送期間を十分考慮して送付してください。

※受験票は２月６日（木）までに送付します。

イ　出願書類等の提出先

〒673－1494　兵庫県加東市下久米942－１　兵庫教育大学入試課

６　出願資格に関する事前審査

※４ページ「４　出願資格」⑴～⑻に該当する方は審査不要です。

４ページの「４　出願資格　⑼　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの又は令和７年３月31日までに22歳に達するもの」についての出願資格審査手続きは、次のとおりです。

なお、次の申請書類の他に、必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

１．申請書類

⑴　入学試験出願資格認定申請書（本学所定の用紙）

⑵　履歴書（本学所定の用紙）

⑶　研究希望等調書（修士課程の場合）又は実践研究希望等調書（専門職学位課程の場合）（本学所定の用紙）

⑷　卒業（修了）証明書及び成績証明書（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等のもの）

⑸　在職期間証明書（各種の教育・研究機関等における証明がある場合）（本学所定の用紙）

⑹　教育職員免許状授与証明書（教育職員免許法による幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、養護教諭又は栄養教諭の２種免許状を有する場合）

⑺　その他証明書等（教育関係施設における教育研究活動歴の証明、レポート又は作品等がある場合）

※入学試験出願資格認定申請書等の用紙は個別に配付しますので、申請する場合は兵庫教育大学入試課（TEL：0795－44－2067、E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp）へ連絡してください。

２．申請方法

志願者は、申請書類を次の申請期間中に必ず「学校教育研究科出願資格認定申請書類在中」と朱書し、「書留・速達」により郵送してください。

ア　申請期間

［８月選抜受験希望者］　令和６年６月５日（水）　～　令和６年６月７日（金）（必着）

［11月選抜受験希望者］　令和６年９月４日（水）　～　令和６年９月６日（金）（必着）

［３月選抜受験希望者］　令和６年12月11日（水）　～　令和６年12月13日（金）（必着）

イ　申請先

〒673－1494　兵庫県加東市下久米942－１　兵庫教育大学入試課

３．審査方法

出願資格認定審査は、申請書類の書類審査により行い、更に必要な場合は、口頭試問による審査を行います。

４．審査結果の通知等

審査の結果は、それぞれ７月上旬（８月選抜)、10月上旬（11月選抜)、１月中旬（３月選抜）に本人へ通知します。

なお、出願資格認定が可となった場合、当該年度においては出願資格を有するものとします。

7　第２志望の選択について

すべての選抜区分（８月選抜、11月選抜、３月選抜等）において、「第１志望」のコース（クラス）に対して、次表に従い「第２志望」を選択することができます。

派遣研修制度による現職教員で、臨床心理学コースを第１志望とする者は、必ず「第２志望」まで選択してください。それ以外の者は、希望する場合のみ「第２志望」を選択してください。

（注１）「臨床心理学コース」は昼間クラス、フレックスクラスとも「第２志望」として選択することはできません。
（注２）「発達障害支援実践コース」及び「教育政策リーダーコース」は「第２志望」として選択することはできません。
（注３）昼間クラスを「第１志望」とした者は、フレックスクラスを「第２志望」として選択することはできません。また、フレックスクラスを「第１志望」とした者は、昼間クラスを「第２志望」として選択することはできません。
（注４）理数系教員養成特別プログラム及びダブルディグリープログラム申請者は、第２志望を選択することはできません。また、第２志望として選択したコースが、理数系教員養成特別プログラム又はダブルディグリープログラムの申請ができるコースであっても、第２志望のコースから当該プログラムの申請はできません。

〈専攻・コースの志望方法〉

第１志望として選択した専攻・コース（クラス）に対して、それぞれ第２志望として選択できる専攻・コース（クラス）は10ページのとおりです。

第１志望として選択した専攻・コース（クラス）に対して、それぞれ第２志望として選択できる専攻・コース（クラス）

第１志望として選択できる専攻・コース（クラス）		第２志望として選択できる専攻・コース（クラス）		修士課程															専門職学位課程														
				人間発達教育専攻												特別支援教育専攻			教育実践高度化専攻														
				教育コミュニケーションコース		幼年教育・発達支援コース		学校心理・学校健康教育・発達支援コース		臨床心理学コース		芸術表現系教育コース		生活・健康・情報系教育コース		障害科学コース		発達障害支援実践コース	学校経営コース		教育方法・生徒指導マネジメントコース		言語系教科マネジメントコース		社会系教科マネジメントコース		理数系教科マネジメントコース		小学校教員養成特別コース（3年制コース）	小学校教員養成特別コース（2年制コース）	グローバル化推進教育リーダーコース		教育政策リーダーコース	授業実践課題探究コース
				昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	フレックス	昼間	昼間	昼間	フレックス	フレックス	フレックス
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	昼間			○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス			×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		幼年教育・発達支援コース	昼間	○	×			○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○			×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	昼間	○	×	○	×			×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○			×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		臨床心理学コース	昼間	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○			×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		芸術表現系教育コース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×			×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		生活・健康・情報系教育コース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○			×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
	特別支援教育専攻	障害科学コース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○			×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		発達障害支援実践コース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×		○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×			○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		教育方法・生徒指導マネジメントコース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×			○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		言語系教科マネジメントコース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×			○	×	○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	×	×	×	○	×	○
		社会系教科マネジメントコース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×			○	×	○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○			×	○	×	×	×	○	×	○
		理数系教科マネジメントコース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×			○	○	○	×	×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○				×	×	×	○	×	○
		小学校教員養成特別コース（３年制コース）	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×			○	×	×	×
		小学校教員養成特別コース（２年制コース）	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×			○	×	×	×
		グローバル化推進教育リーダーコース	昼間	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○			×	×
			フレックス	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×			×	○
		教育政策リーダーコース	フレックス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×
		授業実践課題探究コース	フレックス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

8　選抜方法

⑴　入学者の選抜は、次の方法により行います。

　　ア　事前課題（一部のコース）

　　イ　専攻・コース志望調書の採点（一部のコース）

　　ウ　口述試験（全コース：オンライン面接）

　なお、国内外の協定大学から推薦された志願者若干人について、書類のみによる選考を行います。

⑵　合否の判定は、事前課題、専攻・コース志望調書及び口述試験の評価を総合して行います。

　ただし、事前課題、専攻・コース志望調書、口述試験の評価のいずれかが著しく低い場合は不合格となることがあります。

⑶　各コースの試験概要及び配点は次のとおりです。

＊教職経験者については、７ページ（注２）を参照してください。

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 教育学、心理学にかかわる知識を問う。教育コミュニケーションコースを志望した動機、これまでの研究・教育活動、入学後の研究課題及び研究計画等について専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	事前課題及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［事前課題］ 受験票送付時に同封する。 ［口述試験概要］ 教育学、心理学にかかわる知識を問う。教育コミュニケーションコースを志望した動機、これまでの研究・教育活動、入学後の研究課題及び研究計画等について専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者以外	250	—	250	500
		幼年教育・発達支援	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援にかかわる知識を問う。志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援にかかわる知識を問う。志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者以外	—	—	500	500

<table>
<tr><th rowspan="2">課程</th><th rowspan="2" colspan="3">専攻・コース</th><th rowspan="2" colspan="2">試験概要</th><th colspan="4">配点</th></tr>
<tr><th></th><th>事前課題</th><th>専攻・コース志望調書</th><th>口述</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">修士課程</td><td rowspan="2">人間発達教育専攻</td><td rowspan="2">学校心理・
学校健康教育・
発達支援</td><td>教職
経験者</td><td>口述試験（オンライン面接）を課す。
ただし、専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究、実践、取組等」については、任意で、専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚に記載することができる（採点の対象とはしない）。
［専攻・コース志望調書の内容を別紙に記載する場合の記述内容］
専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究，実践，取組等」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度（最大1,600字以内）で、次の４点に分けて具体的に記述すること。
⑴　研究希望課題（タイトル）およびキーワード（３～５個）
⑵　これまでの経験や学習内容と研究希望課題との関連
⑶　具体的な研究内容・方法について
⑷　本研究の成果を修了後にどのように活かしていきたいのか
［口述試験概要］
主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。</td><td>教職
経験者</td><td>—</td><td>—</td><td>500</td><td>500</td></tr>
<tr><td>教職
経験者
以外</td><td>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。
［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］
専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究，実践，取組等」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度（最大1,600字以内）で、次の４点に分けて具体的に記述すること。筆記試験に代わるものとして、100点満点で採点する。
⑴　研究希望課題（タイトル）およびキーワード（３～５個）
⑵　これまでの経験や学習内容と研究希望課題との関連
⑶　具体的な研究内容・方法について
⑷　本研究の成果を修了後にどのように活かしていきたいのか
［口述試験概要］
主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。</td><td>教職
経験者
以外</td><td>—</td><td>100</td><td>400</td><td>500</td></tr>
</table>

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	人間発達教育専攻	臨床心理学	昼間クラス（全員）	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ ①と②の両方を試問する。 ①「心理学基礎」、「臨床心理学」、「発達障害臨床心理学」、「学校精神保健学」、「英語」から出題する。 ②主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。 （注）「英和辞書」（電子辞書を含む）は使用不可。 ［専攻・コース志望調書の記述内容］ 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」については、専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度（最大1,600字以内）で、次の４点に分けて「研究計画」を具体的に記述すること。なお、手書きによる作成も差し支えない（採点の対象とはしない）。 (1) 研究希望課題（タイトル）およびキーワード（３～５個） (2) 問題と目的 (3) 具体的な研究内容・方法について (4) 引用文献	昼間クラス（全員）	—	—	500	500
			フレックスクラス（全員）	事前課題及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［事前課題］ 受験票送付時に同封する。 ［口述試験概要］ コースの志望動機・目的、本コースにおける自身の実践研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、これまでの実践研究・教育活動および職場での経験を踏まえた課題認識等についても、併せて試問する。	フレックスクラス（全員）	200	—	300	500
		芸術表現系教育（音楽）	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［音楽］における研究や音楽科に関する知識等について専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［音楽］における研究や音楽科に関する知識等について専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、音楽科教育分野及び声楽・器楽等専門分野の基礎的な知識を問う。	教職経験者以外	—	—	500	500
		芸術表現系教育（美術）	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［美術］における研究や図画工作科・美術科に関する知識等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。なお、試験の際、受験者が制作した作品等の成果物又は指導した児童・生徒の作品を３点程度提示できるよう、手元に用意すること（写真でもよい）。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［美術］における研究や図画工作科・美術科に関する知識等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、美術の基礎的な知識を試問する。なお、試験の際、受験者が制作した作品等の成果物又は指導した児童・生徒の作品を３点程度提示できるよう、手元に用意すること（写真でもよい）。	教職経験者以外	—	—	500	500

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	人間発達教育専攻	生活・健康・情報系教育	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 専攻・コース志望調書を参考に志望動機や研究計画を試問するとともに、１．体育スポーツの指導・運動学・体育学などスポーツや健康、保健体育科教育に関する分野、２．衣食住・家族・地域など生活や健康、家庭科教育に関する分野、３．情報教育・ICT 活用教育など教育の情報化に関する分野の範囲から基本的ならびに専門的な知識について試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題と内容」に関する詳細なレポートの採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題と内容」を、指定の様式に概要を記入し、さらにこれに関する詳細なレポートを作成し、出願時に提出するものとして、200点満点で採点する。なお、作成の際、１．背景、２．問題、３．目的、４．研究計画の見出しを立て、具体的かつ明確に記述すること。分量はＡ４サイズの用紙２枚（片面）以内とする。その他の様式（フォント、行数設定等）は自由とする。 ［口述試験概要］ 専攻・コース志望調書を参考に志望動機や研究計画を試問するとともに、１．体育スポーツの指導・運動学・体育学などスポーツや健康、保健体育科教育に関する分野、２．衣食住・家族・地域など生活や健康、家庭科教育に関する分野、３．情報教育・ICT 活用教育など教育の情報化に関する分野の範囲から基本的ならびに専門的な知識について試問する。	教職経験者以外	—	200	300	500
	特別支援教育専攻	障害科学	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、障害科学に関する問題（障害児の教育、心理、病理、指導法等）についても適宜含めて試問する。	教職経験者以外	—	—	500	500
		発達障害支援実践	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 本コース志望の理由、入学後に学びたいこととその理由について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 本コース志望の理由、入学後に学びたいこと及びその理由について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、学校における発達障害支援に関する基礎的知識についても、併せて試問する。	教職経験者以外	—	—	500	500

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営	全員	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を250点満点で採点するので、「学校管理職若しくは教育行政職としての目指す姿」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、Ａ４サイズ１ページに限る。）すること。 フレックスクラスを志望する者については、職歴に関する申告書の提出の際に、学校教育に関する課題意識の記述を求め、口述試験の参考資料とする。 ［口述試験概要］ 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、「学校管理職若しくは教育行政職としての目指す姿」について試問する。	全員	—	250	250	500
		教育方法・生徒指導マネジメント	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、授業実践に関わる基礎的な諸事項及び、包括的生徒指導に関する学校における取組状況や問題関心等について試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	事前課題と口述試験（オンライン面接）を課す。 ［事前課題］ コースが指定する、公的機関や一般社団法人でなされた研究が記載されているサイトや報告書を１件読むこと。なお、具体的な報告書名ないしサイト名は、受験票送付時に同封する。 ［口述試験概要］ ①事前課題に関して、②主として、専攻・コース志望調書に基づいて、授業実践に関わる基礎的な諸事項及び、包括的生徒指導に関する学校における取組状況や問題関心等について試問する。	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	—	—	500	500

<table>
<tr><th rowspan="2">課程</th><th rowspan="2" colspan="3">専攻・コース</th><th rowspan="2" colspan="2">試験概要</th><th colspan="4">配点</th></tr>
<tr><th></th><th>事前課題</th><th>専攻・コース志望調書</th><th>口述</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">専門職学位課程</td><td rowspan="2">教育実践高度化専攻</td><td rowspan="2">言語系教科マネジメント（国語）</td><td>教職経験者</td><td>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。

［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］
専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5、およそ40字×40行で、次の４点に分けて具体的に記述すること。筆記試験に代わるものとして、この４点を200点満点で採点する。なお、手書きによる作成も差し支えない。
(1)　実践研究希望課題（タイトル）
(2)　実践研究を行うに至った動機・背景
(3)　自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性
(4)　実践研究内容と実施計画

［口述試験概要］
自らの実践を踏まえた課題認識と大学院での修学計画を中心に試問する。</td><td>教職経験者</td><td>—</td><td>200</td><td>300</td><td>500</td></tr>
<tr><td>教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）</td><td>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。

［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］
専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5、およそ40字×40行で、次の４点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この４点を200点満点で採点する。なお、手書きによる作成も差し支えない。
(1)　実践研究希望課題（タイトル）
(2)　実践研究を行うに至った動機・背景
(3)　自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性
(4)　実践研究内容と実施計画

［口述試験概要］
大学（学部）での学修や職場での経験を踏まえた課題認識と大学院での修学計画を中心に試問する。</td><td>教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）</td><td>—</td><td>200</td><td>300</td><td>500</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">課程</th><th rowspan="2" colspan="3">専攻・コース</th><th rowspan="2" colspan="2">試験概要</th><th colspan="4">配点</th></tr>
<tr><th></th><th>事前課題</th><th>専攻・コース志望調書</th><th>口述</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="3">専門職学位課程</td><td rowspan="3">教育実践高度化専攻</td><td rowspan="3">言語系教科マネジメント（英語）</td><td>教職経験者</td><td>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。

［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］
専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１ページ以内に、縦置き・横書き・文字ポイント10.5・文字フォント「ＭＳ明朝」（日本語）、「Times New Roman」（英数字）・40字×40行（厳守）で、次の４点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この４点を100点満点で採点する。
(1)　実践研究希望課題（タイトル）
(2)　実践研究を行うに至った動機・背景
(3)　自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性
(4)　２年間（フレックスクラスを志望し、長期履修学生制度の利用を希望する場合は３年間）の実践研究内容と実施計画

［口述試験概要］
専攻・コース志望調書に基づき、入学後の実践研究及び英語科教育に関する実践的課題について日本語及び英語で試問する。</td><td>教職経験者</td><td>—</td><td>100</td><td>400</td><td>500</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）</td><td rowspan="2">専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。

［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］
専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、Ａ４サイズの別紙１ページ以内に、縦置き・横書き・文字ポイント10.5・文字フォント「ＭＳ明朝」（日本語）、「Times New Roman」（英数字）・40字×40行（厳守）で、次の４点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この４点を50点満点で採点する。
(1)　実践研究希望課題（タイトル）
(2)　実践研究を行うに至った動機・背景
(3)　自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性
(4)　２年間（フレックスクラスを志望し、長期履修学生制度の利用を希望する場合は３年間）の実践研究内容と実施計画

［口述試験概要］
(1)　事前に送付する資料に基づいて、教職及び専門分野に関する専門用語や概念について試問する。
(2)　専攻・コース志望調書に基づき、入学後の実践研究及び英語科教育に関する実践的課題について日本語及び英語で試問する。

（注）英検準１級以上、出願時点で２年以内に取得したTOEFL-iBTのスコア72点以上、出願時点で２年以内に取得したTOEIC Listening & Reading Test（IPを除く）のスコア785点以上、ケンブリッジ英語検定レベル３（FCE）、IELTS（アカデミック・モジュール）のスコア5.5点以上のいずれかの資格を有する者は、［口述試験概要］の(1)を免除し、口述試験450点のうち、150点を与える。ただし、英検に関しては「合格証明書」、TOEFLに関しては「Official Score Reports」、TOEICに関しては「Official Score Certificate」、ケンブリッジ英語検定試験に関しては「認定書」、IELTSに関しては「成績証明書」を出願書類と併せて出願用封筒に入れて提出すること。</td><td>教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）</td><td>—</td><td>50</td><td>450</td><td>500</td></tr>
<tr><td>教職経験者以外（外部試験で資格・スコアなど条件を満たす者）</td><td>（外部検定試験）
150</td><td>50</td><td>300</td><td>500</td></tr>
</table>

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	社会系教科マネジメント	教職経験者	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を200点満点で採点するので、入学後に希望する研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、Ａ４サイズ１ページに限る。）すること。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	200	300	500
			教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	—	—	500	500
		理数系教科マネジメント（数学）	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［数学］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［数学］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、中等教育の数学の内容に関しても試問する。 なお、試験の際、計算用紙と筆記用具を手元に用意すること。また、口述試験の配点は、研究等の試問250点、中等教育の数学の内容に関する試問250点とする。 ［口述試験概要（国際貢献型留学生）］ 主として、志望するコース［数学］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、中等教育の数学の内容及び日本語能力に関しても試問する。 なお、試験の際、計算用紙と筆記用具を手元に用意すること。また、口述試験の配点は、研究等の試問250点、中等教育の数学の内容に関する試問250点とする。	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	—	—	500	500
		理数系教科マネジメント（理科）	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［理科］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	教職経験者	—	—	500	500
			教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 主として、志望するコース［理科］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、受験者の専門分野や理科教育に関しても試問する。 ［口述試験概要（国際貢献型留学生）］ 主として、志望するコース［理科］における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、受験者の専門分野や日本語能力に関しても試問する。	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	—	—	500	500
		小学校教員養成特別（3年制・2年制）	全員	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ 志望動機や研究計画等とともに、筆記教養試験に代わる内容を問う。	全員	—	—	500	500

課程	専攻・コース		試験概要		配点				
						事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	グローバル化推進教育リーダー	教職経験者	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を200点満点で採点するので、「学校現場のグローバル化を推進するスクールリーダーとして目指す姿」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、Ａ４サイズ１ページに限る。）すること。 ［口述試験概要］ 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、教育実践に関する問題の捉え方や内容・方法論、関心等について試問する。	教職経験者	—	200	300	500
			教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を200点満点で採点するので、「学校現場のグローバル化を推進するスクールリーダーとして目指す姿」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、Ａ４サイズ１ページに限る。）すること。 ［口述試験概要］ 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、教育実践に関する問題の捉え方や内容・方法論、関心等について試問する。	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	—	200	300	500
		教育政策リーダー	全員	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 ［専攻・コース志望調書の記述内容、採点］ 「現在の教育委員会制度改革の論点と課題」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述すること。 ［口述試験概要］ 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、地方教育行政のトップリーダーとしての在り方やその学修課題について試問する。	全員	—	250	250	500
		授業実践課題探究	全員	口述試験（オンライン面接）を課す。 ［口述試験概要］ コースの志望動機・目的、本コースにおける自身の研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	全員	—	—	500	500

9　試験の日程

口述試験（オンライン面接）は、Zoom（Zoom Video Communications 社の提供するオンライン通話アプリケーション）を使用し行います。

静穏かつ安定したインターネット接続環境が維持できる場所（自宅等の個室）に必要な機器を設置し、通話して受験してください。（インターネットカフェ等の商業施設は不可）

また、接続環境を確認するため、事前に大学との間でオンライン接続チェックを行います。オンライン接続チェックは、試験の一環として実施するものになるので、オンライン接続チェックを欠席した場合は試験日の口述試験（オンライン面接）は受験できません。

（注）・機器の確保及び良好な接続環境の確保については、受験者の責任で行っていただくものとします。
・試験を実施するにあたり充分な通話環境が確保されていることの判断は、面接委員が行います。面接委員の合議により、通話環境が充分でなく試験が続行できないとの判断が下された際には、試験を打ち切ることがあります。その場合は後日再度受験していただくことがあります。

口述試験は、一人あたり10～30分程度で、個人形式で行います。試験時間は、受験票送付の際にお知らせします。

［8月選抜］（注１）

<table>
<tr><td colspan="3">オンライン接続チェック</td><td>令和６年８月５日（月）～７日（水）
のうち、大学が指定した日時</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験日</td><td rowspan="2">口述試験
（オンライン面接）
（臨床心理学コース
（昼間クラス））</td><td>①知識についての試問（注２）</td><td>令和６年８月17日（土）（注３）</td></tr>
<tr><td>②研究等についての試問（注２）</td><td>令和６年８月18日（日）（注４）</td></tr>
<tr><td colspan="2">口述試験（オンライン面接）
（臨床心理学コースを除く）</td><td>令和６年８月18日（日）（注４）</td></tr>
</table>

（注１）８月選抜では、臨床心理学コース（フレックスクラス）及び障害科学コース（フレックスクラス）は募集を行いません。
（注２）①と②の両方の口述試験を受験する必要があります。
（注３）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（８月24日（土））に試験を実施することがあります。
（注４）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（８月25日（日））に試験を実施することがあります。

［11月選抜］

<table>
<tr><td colspan="3">オンライン接続チェック</td><td>令和６年11月５日（火）～７日（木）
のうち、大学が指定した日時</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試験日</td><td rowspan="2">口述試験
（オンライン面接）
（臨床心理学コース
（昼間クラス））</td><td>①知識についての試問（注５）</td><td rowspan="3">令和６年11月16日（土）（注６）（注７）</td></tr>
<tr><td>②研究等についての試問（注５）</td></tr>
<tr><td colspan="2">口述試験（オンライン面接）
（臨床心理学コース（昼間クラス）を除く）</td></tr>
</table>

（注５）①と②の両方の口述試験を受験する必要があります。①と②の口述試験は、試験当日、別々の時間帯で実施します。
（注６）志願者数により、一部受験者は11月17日（日）に試験を行う場合があります。
（注７）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（11月23日（土）又は11月24日（日））に試験を実施することがあります。

［３月選抜］（注８）

<table>
<tr><td colspan="2">オンライン接続チェック</td><td>令和７年２月14日（金）、17日（月）、18日（火）
のうち、大学が指定した日時</td></tr>
<tr><td>試験日</td><td>口述試験（オンライン面接）
（臨床心理学コースを除く）</td><td>令和７年３月１日（土）（注９）</td></tr>
</table>

（注８）３月選抜では、臨床心理学コースは募集を行いません。
（注９）気象警報等が発令された場合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（３月４日（火）に試験を実施することがあります。

10　合格者の発表

［８月選抜］　令和６年９月６日（金）午前10時
※予備日に試験を行うコースがあった場合は令和６年９月13日（金）午前10時
［11月選抜］　令和６年11月29日（金）午前10時
※予備日に試験を行うコースがあった場合は令和６年12月６日（金）午前10時
［３月選抜］　令和７年３月14日（金）午前10時

⑴　本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において、合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者に対して合格通知書を発送します。
なお、本人あてに郵送する合格通知書をもって正式な通知とします。
（注）合否に関する問い合わせには応じられません。

⑵　合格者には、入学手続に必要な書類を送付するとともに、書類提出期日、その他入学手続に必要な事項を通知します。

11　入学手続

①　期　間　　［８月選抜・11月選抜］
令和６年12月９日（月）～ 令和６年12月13日（金）〔郵送する場合は、締切日必着〕
※11月選抜で予備日に試験を行うコースがあった場合は
令和６年12月12日（木）～ 令和６年12月18日（水）〔郵送する場合は、締切日必着〕
［３月選抜］
令和７年３月18日（火）～ 令和７年３月21日（金）〔郵送する場合は、締切日必着〕

②　方　法　　原則として郵送（書留・速達）による受付となります。
なお、大学に持参する場合は、次の場所、時間に提出してください。
〒673－1494　兵庫県加東市下久米942－１
兵庫教育大学学務課（総合研究棟１階）〔９時から17時まで〕（土日祝日は除く）

入学手続書類は、８月選抜及び11月選抜の合格者には12月上旬、３月選抜の合格者には合格者発表直後に発送します。（出願書類のあて名票宛）

上記入学手続期間になっても入学手続書類が自宅に届かない場合は、必ず次まで連絡してください。
兵庫教育大学学務課
TEL：0795－44－2040　／　E-mail：aca-daigakuin@ml.hyogo-u.ac.jp

③　入学時等に必要な経費

入学料	282,000円	
授業料（前期分）	267,900円	＜年額　535,800円＞

（注１）入学料及び授業料の額は、令和６年度納付額であり、令和７年度は改定になる場合があります。
（注２）在学時に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
（注３）長期履修学生（入学当初から長期履修の許可を受けたフレックスクラス学生及び理数系教員養成特別プログラム受講者）については、通常の２年分の授業料を３年間で分割納入することになります。
（注４）ダブルディグリープログラム受講許可者については、３年分の授業料を納入することになります。

12　障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある者で、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、８月選抜は令和６年６月７日（金）、11月選抜は令和６年９月６日（金）及び３月選抜は令和６年12月25日（水）までに申し出てください。

（申出先）兵庫教育大学入試課
TEL：0795－44－2067
E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp

13　その他の留意事項

⑴　出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めません。
⑵　出願書類等に不備があるときは、受理しないことがあります。
⑶　出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
⑷　大学卒業見込みで出願した者で、令和７年３月までに卒業できない者は、入学許可を取り消します。また、教員免許状取得を出願要件とするコース（発達障害支援実践コース、教育方法・生徒指導マネジメントコース、言語系教科マネジメントコース、社会系教科マネジメントコース、理数系教科マネジメントコース、小学校教員養成特別コース（２年制コース）及びグローバル化推進教育リーダーコース）において取得見込みで出願した者で、令和７年３月までに取得できない者は、入学許可を取り消します。（ただし、令和７年３月までに教員免許状取得に係る所要資格を得た者を除きます。）
　教育政策リーダーコースにおいて、令和７年４月１日で出願要件を満たす者は、要件を満たしたことを証明する書類を入学時に提出してください。出願要件を満たさなかった者や要件を満たしたことを証明する書類を提出しなかった者は、入学を取り消します。
⑸　出願書類及び検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。
⑹　出願等に関する照会は、Ｅメール又は電話等によって本学入試課あてに行ってください。
⑺　この募集要項に記載されていることについて一部変更が生じたときは、必要に応じて web サイト等で通知等を行うことがありますので留意してください。
⑻　入学時において、入学料、授業料のほか厚生会費等の納入が必要となります。

14　神戸キャンパスの授業時間及び授業方法等

神戸キャンパスの授業時間及び授業の実施方法等は次のとおりです。

⑴　授業時間（月曜日～金曜日）

昼間クラス（臨床心理学コースのみ）

時　限	授業開始・終了時刻
第１時限	９時00分 ～ 10時30分
第２時限	10時40分 ～ 12時10分
第３時限	13時10分 ～ 14時40分
第４時限	14時50分 ～ 16時20分
第５時限	16時30分 ～ 18時00分

フレックスクラス

時　限	授業開始・終了時刻
第６時限	18時30分 ～ 20時00分
第７時限	20時10分 ～ 21時40分

⑵　授業の実施方法等

各授業科目については、原則として、上記⑴のとおり開講します。

ただし、一部の授業科目は、加東キャンパス等にて土曜日や集中講義形式で開講することもあります。

また、受講者数や教室等の関係で、授業実施方法等を変更することがあります。

⑶　兵庫教育大学神戸キャンパスの位置図

所在地　　〒653－0036　神戸市長田区腕塚町５丁目２番１号

交　通　　ＪＲ・地下鉄新長田駅　→　徒歩　約７分

※現在神戸キャンパスは神戸ハーバーランド地区に所在していますが、令和７年４月からは上記に移転します。

15　長期履修学生制度の利用

フレックスクラスに入学する者で、職業を有している等の事情により、３年間にわたり計画的に教育課程を履修しようとする者は、許可を得て、３年間で修了することができます。

授業料の額等については、別冊子「大学院案内」をご覧ください。

⑴　申請方法

ア　申請期間

各選抜出願期間（８ページ参照）

イ　申請方法

巻末に綴じ込みの『長期履修申請書（フレックスクラス）』に必要事項を記入のうえ、各選抜試験の出願書類と併せて出願用封筒に入れて送付してください。

⑵　許可者の発表

各選抜合格者発表日（21ページ参照）

本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において、許可者の受験番号を掲載するとともに、同日、許可者に対して通知書を発送します。

なお、本人あてに郵送する通知書をもって正式な通知とします。

（注）可否に関する問い合わせには応じられません。

16　小中連携教育プログラム（８月選抜・11月選抜のみ募集）

学校現場で急速に進む小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、本プログラム受講者は、大学院在学中（２年間）に小学校教諭２種免許状の所要資格を取得することができます。

さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭や保育教諭として３年以上の教職経験を有している者も小学校教諭２種免許状の所要資格を取得することができます。

（小学校教員養成特別コースの学生は中学校教諭２種免許状の所要資格を取得可能）

なお、本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修することになります。大学院生が履修しやすくなるよう、多くの授業科目はオンライン（原則オンデマンド）方式での開講となります。

また、教職大学院（専門職学位課程）の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

詳細は、別冊子「大学院案内」をご覧ください。

⑴　小中連携教育プログラムのユニット、対象コース及び受講可能な者

本プログラムには次の３つのユニットがあります。

（コース毎の受講対象者は25ページの表のとおりです。）

①小学校ユニット（昼間クラス）……小学校教諭２種免許状取得可能

②中学校ユニット（小学校教員養成特別コース）

……中学校教諭２種免許状（国・社・数・理・英いずれかの教科）を取得可能

③現職ユニット（昼間・フレックスクラス）

……小学校教諭２種免許状取得可能　免許法第６条別表８適用者

小中連携教育プログラムのユニット、対象コース及び受講可能な者

大学院入学者選抜試験において出願するコース等			受講可能なユニット	大学院入学前に取得（取得見込み含む）が必要な教員免許状
修士課程	全専攻・コース	教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	中学校または幼稚園教諭免許状
専門職学位課程	教育方法・生徒指導マネジメントコース	教職経験のない者等※１	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	
	言語系教科マネジメントコース	教職経験のない者等※１	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	
	社会系教科マネジメントコース	教職経験のない者等※１	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	
	理数系教科マネジメントコース※３	教職経験のない者等※１	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	
	小学校教員養成特別コース	３年制コース※４	中学校ユニット	―――
		２年制コース※４		小学校教諭１種免許状
	グローバル化推進教育リーダーコース	教職経験のない者等※１	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	
	授業実践課題探究コース	教職経験者（３年以上）※２	現職ユニット	中学校教諭免許状

※１　教職経験３年未満の者を含みます。
※２　現職ユニット受講者は、中学校教諭として３年以上の教職経験（講師としての経験を含む。）がある者が対象となります。
（教職経験者の定義については、７ページ（注２）をご確認ください。）
なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるよう、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭又は保育教諭として３年以上の教職経験（講師としての経験を含む。）がある者も受講対象とします。
※３　理数系教科マネジメントコースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する者は小中連携教育プログラムを受講することはできません。
※４　小学校教員養成特別コース（３年制コース・２年制コース）の学生で、中学校教諭免許状（教科は問わない）を取得（取得見込み含む）している者は小中連携教育プログラムを受講することはできません。

(2)　修得単位数の目安（専門職学位課程の場合）

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者〔小学校教員養成特別コース（２年制コース）〕	現職ユニット受講者（実習免除が適用された場合）
専門職学位課程修了要件単位数	46	46	36～42
各ユニット科目単位数（注）	39	37～43（教科により異なります）	14
計	85	83～89	50～56

（注）ユニット科目の単位数については、受講者の既修得単位の状況により異なる場合があります。また、受講科目の改編等で変更される場合があります。

(3)　申請方法

ア　申請期間

８月選抜・11月選抜の各出願期間（８ページ参照）

※３月選抜については募集は行いません。

イ　申請方法

巻末に綴じ込みの『小中連携教育プログラム受講申請書』に必要事項を記入のうえ、選抜試験の出願書類と併せて出願用封筒に入れて送付してください。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。必ず出願書類に同封して申請書を送付してください。

⑷　プログラムの受講

⑶により申請した大学院入学者選抜試験の合格者は、全員受講可能とします。

また、８月選抜・11月選抜の各合格者発表日に受講許可者に対して通知書を発送します。

※プログラムの受講に関する詳細は、入学手続き完了後（２月中旬）に学務課から案内します。

17　理数系教員養成特別プログラム（８月選抜・11月選抜のみ募集）

理数系教科マネジメントコース（昼間クラス）において、長期履修学生制度を適用して理数系教員養成特別プログラムを実施します。このプログラムは、大学院レベルの高度な教育実践力を持った中学・高等学校の「数学又は理科」教員の養成を行うことを目的としており、３年間で大学院の教育課程と学部の教職課程（中学・高等学校の数学又は理科の１種免許に関する単位）を併せて履修します。修了時には、中学・高等学校教諭専修免許状（数学又は理科）の取得が可能です。（数学と理科の両方の教員免許状を取得することはできません。）

⑴　申請資格

理数系教科マネジメントコース（昼間クラス）を志願する者で、次のいずれかに該当する者

①理数系教科マネジメントコースの「数学」を志願する者で、中学校教諭免許状（数学）及び高等学校教諭免許状（数学）のいずれも取得していない者

②理数系教科マネジメントコースの「理科」を志願する者で、中学校教諭免許状（理科）及び高等学校教諭免許状（理科）のいずれも取得していない者

ただし、理数系教科マネジメントコースの「数学」を志願する者は理数系教員養成特別プログラムも「数学」を、理数系教科マネジメントコースの「理科」を志願する者は理数系教員養成特別プログラムも「理科」を申請する必要があります。

⑵　申請方法

ア　申請期間

８月選抜・11月選抜の各出願期間（８ページ参照）

※３月選抜については募集を行いません。

イ　申請方法

巻末に綴じ込みの『理数系教員養成特別プログラム受講申請書』に必要事項を記入のうえ、選抜試験の出願書類と併せて出願用封筒に入れて送付してください。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。必ず出願書類に同封して申請書を送付してください。

⑶　受講可否の決定方法

大学院入学者選抜試験とは別に理数系教員養成特別プログラム選考試験を実施し、受験者の教職意欲や適性を判断して、受講の可否を決定します。

なお、受講できる人数は、大学院入学者選抜試験に合格した者の中から、理数系教員養成特別プログラム選考試験の結果により、８月選抜受験者から10人程度、11月選抜受験者から５人程度の受講許可者を決定します。

（注１）理数系教員養成特別プログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験と理数系教員養成特別プログラム選考試験の両方の試験を受験する必要があります。

（注２）大学院入学者選抜試験に合格し、理数系教員養成特別プログラムの受講が不許可となった場合は、理数系教科マネジメントコースへの入学は認められません。ただし、小学校教諭免許状を取得している場合は、標準修業年限を２年として理数系教科マネジメントコースへの入学が認められます。

（注３）大学院入学者選抜試験（８月選抜）に合格し、理数系教員養成特別プログラム選考試験の結果、受講不許可となった者は、11月選抜時に実施する理数系教員養成特別プログラム選考試験を再受験することができます。再受験希望者は入試課（TEL：0795－44－2067）までお問い合わせください。

（注４）理数系教員養成特別プログラムを受験する者は、大学院入学者選抜試験の第２志望及びダブルディグリープログラムの受験はできません。また、理数系教科マネジメントコースを第２志望として選択した場合も、理数系教員養成特別プログラムを受験することはできません。

(4) 理数系教員養成特別プログラム選考試験日時等

実　施　日	試験科目等
８月選抜・11月選抜試験日と同日 （20ページ参照）	口述試験＊ （オンライン面接）

＊口述試験に関する詳細は、受験票送付時にお知らせします。

(5) 許可者の発表

８月選抜・11月選抜の各合格者発表日（21ページ参照）

※本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において、許可者の受験番号を掲載するとともに、同日、許可者に対して通知書を発送します。
なお、本人あてに郵送する通知書をもって正式な通知とします。
（注）可否に関する問い合わせには応じられません。

18　ダブルディグリープログラム（８月選抜のみ募集）

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードする人材の養成を行うことを目的としており、３年間で本学大学院（修士課程）〔在学期間：１年６か月〕と協定大学（大邱教育大学校［韓国］、京仁教育大学校［韓国］、屏東大学［台湾］、台北教育大学［台湾］又は高雄師範大学［台湾］）の大学院（修士課程）〔在学期間：１年６か月＊〕の教育課程を併せて履修します。修了時には、本学と協定大学における双方の学位を取得できます。

＊特別な事情があると認める場合は、最長２年間（休学期間を含む。）まで延長することができます。

(1) 申請資格

大学院入学者選抜試験の出願資格を有する者（４ページの「４　出願資格」を有する者）で、それぞれの受講申請大学において、いずれかの語学能力を有する者。

ただし、次のいずれかに該当する者は申請できません。

① 臨床心理学コースを志願する者
② 発達障害支援実践コースを志願する者
③ 教育実践高度化専攻を志願する者
④ フレックスクラスを志願する者

【大邱教育大学校［韓国］、京仁教育大学校［韓国］】
・韓国語能力試験３級と同等以上の語学能力を有する者

【屏東大学［台湾］、台北教育大学［台湾］、高雄師範大学［台湾］】
・HSK 試験（漢語水平考試）５級以上を有する者
・中国語能力試験（SC-TOP）レベル３以上を有する者
・日本中国語検定準１級以上を有する者
・英検準１級以上を有する者
・TOEFL-PBT（ITP を含む。）のスコア540点以上を有する者（出願時点で２年以内の取得に限る。）
・TOEFL-iBT のスコア76点以上を有する者
・TOEIC（IP を含む。）のスコア730点以上を有する者（出願時点で２年以内の取得に限る。）
・ケンブリッジ英語検定試験レベル３（FCE）以上を有する者
・IELTS（アカデミック・モジュール）のスコア5.5点以上を有する者

(2) 申請方法

ア　申請期間

８月選抜出願期間（８ページ参照）

※８月選抜のみ募集を行います。

イ　申請方法

巻末に綴じ込みの『ダブルディグリープログラム受講申請書』に必要事項を記入のうえ、語学能力に関する『外部検定試験の成績に関する証明書』とともに、選抜試験の出願書類と併せて出願用封筒に入れて送付してください。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。必ず出願書類に同封して申請書を送付してください。

(3) 受講可否の決定方法

大学院入学者選抜試験とは別にダブルディグリープログラム選考試験を実施し、受験者の研究意欲や適性を判断して、受講の可否を決定します。

なお、受講できる人数は若干人とし、大学院入学者選抜試験に合格した者の中から、ダブルディグリープログラム選考試験の結果により、受講許可者を決定します。

（注１）ダブルディグリープログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験とダブルディグリープログラム選考試験の両方の試験を受験する必要があります。

（注２）大学院入学者選抜試験に合格し、ダブルディグリープログラムの受講が不許可となった場合、同プログラムの受講はできませんが、標準修業年限を２年として大学院（修士課程）の教育課程を受けることができます。

（注３）ダブルディグリープログラムを受験する者は、大学院入学者選抜試験の第２志望及び理数系教員養成特別プログラムの受験はできません。また、第２志望として選択したコースが、ダブルディグリープログラムの申請ができるコースであっても、第２志望のコースから当該プログラムを受験することはできません。

(4) ダブルディグリープログラム選考試験日時等

実　施　日	試験科目等
８月選抜試験日と同日 （20ページ参照）	口述試験＊ （オンライン面接）

＊口述試験に関する詳細は、受験票送付時にお知らせします。

(5) 許可者の発表

８月選抜合格者発表日（21ページ参照）

※本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において、許可者の受験番号を掲載するとともに、同日、許可者に対して通知書を発送します。

なお、本人あてに郵送する通知書をもって正式な通知とします。

（注）可否に関する問い合わせには応じられません。

(6) その他

入学後、協定大学のダブルディグリー特別選抜に不合格等となった場合は、修業年限２年として本学大学院（修士課程）の教育課程を受けることができます。

19　国際貢献型留学生の募集について

専門職学位課程では、日本型教育を学び、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す留学生の方を、各選抜において若干人募集します。

(1) 対象者

日本型教育を学び、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す留学生の方（日本の教員免許状の有無は問わない。ただし、２ページ（注４）に該当する者は日本語能力に関する資格を取得していることが必要）

（注）上記以外の留学生の方は、通常の出願手続（５ページ以降）により出願してください。

(2) 対象コース　※下記の昼間クラスのみ募集

・教育方法・生徒指導マネジメントコース（昼間クラス）
・言語系教科マネジメントコース（昼間クラス）
・社会系教科マネジメントコース（昼間クラス）
・理数系教科マネジメントコース（昼間クラス）
・グローバル化推進教育リーダーコース（昼間クラス）

(3) 申請方法

ア　申請期間

各選抜出願期間（８ページ参照）

イ　申請方法

上記に該当する留学生の方は、出願時に巻末に綴じ込みの『入学願書』を記入する際、「国際貢献型留学生区分での出願」欄内の「有り」を〇で囲み、出身国（国籍）を記入し、提出してください。

(4) 口述試験（オンライン面接）の日時等

各選抜試験日（20ページ参照）

＊試験概要及び配点は、11ページ「８　選抜方法」のとおりです。

(5) 合格者の発表

各選抜合格者発表日（21ページ参照）

※本学 Web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）において、合格者の受験番号を掲載するとともに、同日、合格者に対して合格通知書を発送します。
なお、本人あてに郵送する通知書をもって正式な通知とします。
（注）合否に関する問い合わせには応じられません。

入学者選抜状況

区分				募集人員	令和6年度									
					８月選抜				11月選抜				３月選抜	
					第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		第1志望	第2志望
					志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	志願者
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	昼間クラス	10	2	2	6	2	3	3	1	0	3	0
			フレックスクラス		3	3	0	0	2	2	2	0	1	0
		幼年教育・発達支援	昼間クラス	10	2	1	2	0	1	0	0	0	0	1
			フレックスクラス		9	8	0	0	1	1	0	0	4	0
		学校心理・学校健康教育・発達支援	昼間クラス	20	13	11	7	0	5	4	1	0	1	0
			フレックスクラス		3	2	1	0	6	5	0	0	2	1
		臨床心理学	昼間クラス	40	107	28	—	—	37	16	—	—	—	—
			フレックスクラス		—	—	—	—	15	12	—	—	—	—
		芸術表現系教育	昼間クラス	15	8	7	0	0	3	3	0	0	2	0
			フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		生活・健康・情報系教育	昼間クラス	20	10	10	0	0	3	3	0	0	3	0
			フレックスクラス		2	2	0	0	1	1	0	0	3	0
	特別支援教育専攻	障害科学	昼間クラス	20	14	13	2	0	4	4	0	0	1	0
			フレックスクラス		—	—	—	—	4	4	1	0	2	0
		発達障害支援実践	昼間クラス	10	10	10	—	—	2	2	—	—	0	—
	小計			145	184	98	18	2	87	60	5	0	23	2
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営	昼間クラス	15	6	6	0	0	2	2	0	0	2	0
			フレックスクラス		7	7	0	0	4	4	0	0	2	0
		教育方法・生徒指導マネジメント	昼間クラス	25	11	11	4	0	7	5	0	0	1	0
			フレックスクラス		1	1	0	0	2	2	0	0	3	0
		言語系教科マネジメント	昼間クラス	19	8	7	1	1	8	6	0	0	3	1
			フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	3	0
		社会系教科マネジメント	昼間クラス	17	7	7	1	0	0	0	0	0	1	0
			フレックスクラス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		理数系教科マネジメント	昼間クラス	20	10	9	0	0	3	2	1	1	0	0
			フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		小学校教員養成特別（３年制）	昼間クラス	30	11	9	0	0	8	7	0	0	3	0
		小学校教員養成特別（２年制）	昼間クラス	5	5	4	0	0	1	0	0	0	1	0
		グローバル化推進教育リーダー	昼間クラス	7	3	3	1	1	2	2	0	0	1	0
			フレックスクラス		3	3	0	0	0	0	0	0	2	0
		教育政策リーダー	フレックスクラス	7	3	3	—	—	2	2	—	—	8	—
		授業実践課題探究	フレックスクラス	10	1	1	0	0	3	3	0	0	1	0
	小計			155	78	73	7	2	42	35	1	1	32	1
合計				300	262	171	25	4	129	95	6	1	55	3

（備考）
※令和6年度の入学者選抜状況は、令和6年3月6日現在の状況を掲載しています。
※「学校教育コース」は「授業実践課題探究コース」に名称を変更しました。
※令和6年度入学者選抜試験から、全てのコースの「夜間クラス」を「フレックスクラス」に変更しました。
※令和6年度入学者選抜試験から、障害科学コースの「フレックスクラス」の募集を開始しました。

入学者選抜状況

区分				募集人員	令和5年度												入学者
					8月選抜				11月選抜				3月選抜				
					第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		
					志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	昼間クラス	10	6	4	0	0	2	2	0	0	4	2	0	0	8
			夜間クラス		0	0	1	0	1	1	0	0	2	2	0	0	3
		幼年教育・発達支援	昼間クラス	10	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
			夜間クラス		9	8	0	0	2	2	0	0	4	3	1	0	12
		学校心理・学校健康教育・発達支援	昼間クラス	20	11	8	6	1	4	3	0	0	3	0	1	0	10
			夜間クラス		0	0	1	0	4	4	1	0	4	4	2	0	7
		臨床心理学	昼間クラス	40	59	31	—	—	39	10	—	—	—	—	—	—	34
			夜間クラス		15	4	—	—	17	4	—	—	—	—	—	—	8
		芸術表現系教育	昼間クラス	15	8	6	0	0	3	1	0	0	4	3	0	0	10
			夜間クラス		1	1	0	0	4	4	0	0	1	1	2	1	※ 6
		生活・健康・情報系教育	昼間クラス	20	9	9	3	0	6	6	0	0	4	1	0	0	15
			夜間クラス		2	2	0	0	1	1	1	0	3	3	0	0	6
	特別支援教育専攻	障害科学		20	20	19	3	0	8	6	2	0	1	1	1	0	24
		発達障害支援実践		10	14	13	—	—	1	1	—	—	1	1	—	0	12
	小計			145	154	105	16	1	94	46	5	0	31	21	7	1	155
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営	昼間クラス	15	6	6	1	0	2	2	0	0	3	3	0	0	9
			フレックスクラス		4	4	0	0	3	3	0	0	5	5	1	0	13
		教育方法・生徒指導マネジメント	昼間クラス	25	7	7	7	0	2	2	0	0	2	2	0	0	10
			夜間クラス		0	0	1	0	2	2	0	0	3	3	0	0	5
		言語系教科マネジメント	昼間クラス	19	11	9	2	0	4	4	0	0	2	2	0	0	13
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1
		社会系教科マネジメント	昼間クラス	17	5	5	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		理数系教科マネジメント	昼間クラス	20	13	11	2	0	6	5	1	0	0	0	0	0	16
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小学校教員養成特別（３年制）		30	16	14	0	0	6	6	1	0	3	3	0	0	17
		小学校教員養成特別（２年制）		5	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	2
		グローバル化推進教育リーダー	昼間クラス	7	4	4	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2
		教育政策リーダー		7	4	4	—	—	4	3	—	—	7	7	—	—	14
		学校教育		10	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2
	小計			155	70	64	13	0	37	34	2	0	33	31	1	0	115
合計				300	224	169	29	1	131	80	7	0	64	52	8	1	270

（備考）
※印は、第2志望による入学者を含みます。
※令和5年度入学者選抜試験から、「学校経営コース」の「夜間クラス」を「フレックスクラス」に変更しました。

入学者選抜状況

区分				募集人員	令和4年度												入学者
					8月選抜				11月選抜				3月選抜				
					第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		
					志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	昼間クラス	10	7	6	3	0	6	4	2	0	3	1	0	0	9
			夜間クラス		5	3	0	0	3	3	0	0	0	0	1	0	6
		幼年教育・発達支援	昼間クラス	10	4	2	1	0	2	2	0	0	2	0	0	0	4
			夜間クラス		4	4	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	8
		学校心理・学校健康教育・発達支援	昼間クラス	20	11	11	9	5	7	4	5	1	2	0	0	0	※ 21
			夜間クラス		7	5	0	0	5	2	0	0	2	0	0	0	7
		臨床心理学	昼間クラス	40	71	35	—	—	28	6	—	—	—	—	—	—	33
			夜間クラス		9	8	—	—	12	5	—	—	—	—	—	—	12
		芸術表現系教育	昼間クラス	15	6	6	0	0	4	4	0	0	2	0	0	0	8
			夜間クラス		1	1	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	4
		生活・健康・情報系教育	昼間クラス	20	7	7	0	0	10	9	0	0	4	3	0	0	18
			夜間クラス		0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2
	特別支援教育専攻	障害科学		20	24	23	2	0	3	3	2	0	1	1	0	0	24
		発達障害支援実践		10	9	9	—	—	3	3	—	—	1	0	—	—	12
	小計			145	165	120	15	5	87	49	9	1	22	10	1	0	168
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営	昼間クラス	15	7	7	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	9
			夜間クラス		3	3	0	0	3	3	0	0	4	4	0	0	10
		教育方法・生徒指導マネジメント	昼間クラス	25	11	10	1	0	1	1	2	0	1	1	0	0	12
			夜間クラス		2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2
		言語系教科マネジメント	昼間クラス	19	17	14	2	0	7	7	1	0	2	2	0	0	20
			夜間クラス		0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2
		社会系教科マネジメント	昼間クラス	17	4	4	1	0	9	7	0	0	1	0	0	0	11
			夜間クラス		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		理数系教科マネジメント	昼間クラス	20	7	7	0	0	6	6	0	0	2	2	0	0	11
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小学校教員養成特別（3年制）		30	15	15	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	13
		小学校教員養成特別（2年制）		5	0	0	1	0	5	4	0	0	0	0	1	0	3
		グローバル化推進教育リーダー	昼間クラス	7	5	5	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	7
			夜間クラス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
		教育政策リーダー		7	5	5	—	—	2	1	—	—	3	3	—	—	9
		学校教育		10	1	1	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	3
	小計			155	77	73	7	0	42	38	3	0	24	23	2	0	113
合計				300	242	193	22	5	129	87	12	1	46	33	3	0	281

（備考）
※印は、第2志望による入学者を含みます。
※「学校臨床科学コース」は「教育方法・生徒指導マネジメントコース」に名称を変更しました。
※令和4年度入学者選抜試験から、専門職学位課程の「夜間クラス」の募集を開始しました。

添付書類等（所定用紙）

1　入学願書

2　専攻・コース志望調書（第１志望）

3　専攻・コース志望調書（第２志望）

4　入学願書（教育政策リーダーコース）

5　専攻・コース志望調書
（教育政策リーダーコース）

6　受験票、写真票

7　在職期間証明書

8　検定料納付確認票

9　検定料払込用紙

10　志願者名票、あて名票

11　受験票等送付用封筒

12　出願用封筒

以上一式

入学願書記入上の注意

1　「志望専攻・コース（クラス）」欄は、志望する専攻・コース等を〇で囲んでください。
　なお、**派遣研修制度による現職教員で、臨床心理学コースを第１志望とする者は必ず「第２志望」まで選択してください。**それ以外の者は、希望する場合のみ「第２志望」を記入してください。
（注）第２志望の選択がある者は、９ページ「７　第２志望の選択について」に従い、第２志望として選択できる専攻・コース等を〇で囲んでください。
　また、次により該当する事項を〇で囲んでください。
⑴　**「昼間」**クラス又は**「フレックス」**クラスの該当する方を〇で囲んでください。
⑵　**人間発達教育専攻の芸術表現系教育コース**及び**教育実践高度化専攻の言語系教科マネジメントコース、理数系教科マネジメントコース、小学校教員養成特別コース**は、次のとおり記入してください。
　①　**「芸術表現系教育コース」**は、**「音楽」**又は**「美術」**のいずれかを〇で囲んでください。
　②　**「言語系教科マネジメントコース」**は、**「国語」**又は**「英語」**のいずれかを〇で囲んでください。
　③　**「理数系教科マネジメントコース」**は、**「数学」**又は**「理科」**のいずれかを〇で囲んでください。
　④　**「小学校教員養成特別コース」**は、**「３年制」**又は**「２年制」**のいずれかを〇で囲んでください。

2　「出願資格」欄は、該当項目を〇で囲み、必要事項を記入してください。
　また、「その他の資格」欄は、出願資格が募集要項４ページの「４　出願資格」に記載の「⑴　大学を卒業した者又は令和７年３月までに卒業見込みの者」以外に該当する者のみ記入してください。

3　「取得教員免許状の種類」欄は、令和７年３月までに取得見込みの免許状を含め記入し、「取得済」「取得見込」のいずれかを〇で囲んでください。

4　「教職経験年月数」欄は、次のことに留意のうえ、初等中等教育教員として勤務した期間を記入してください。
⑴　休職期間は、在職年月数に算入しない。
⑵　初等中等教育教員として勤務した期間については、次の期間を含む。
　・講師として勤務した期間
　・認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）の保育経験の期間
　・保育所（無認可のものを除く。）の保育経験の期間
　・平成10年６月以降に学校栄養職員として勤務した期間
⑶　現在勤務している職については、
　・令和７年４月１日以降も在職する予定の場合、令和７年３月の月数まで算入する。
　・令和７年３月31日以前に退職する予定の場合、退職予定月の月数まで算入する。
⑷　過去に勤務していた職については、在職期間が１か月未満となる期間がある場合、１か月に切り上げて算入する。

5　「同意書」欄は、次により記入してください。（現在、勤務されている方のみ）
⑴　同意書のある者のうち、派遣研修制度による国公立学校の教員は、**「有（派遣研修制度）」を**〇で囲んでください。また、大学院修学休業制度を利用する国公立学校の教員は、**「有（修学休業制度）」を**〇で囲んでください。
⑵　**同意書のない者は、「無」を**〇で囲んだうえ、**「フレックスクラス」等該当する項目を**〇で囲んでください。なお、該当する項目がない場合は、「その他」を〇で囲み、（　）内に具体的事由を記入してください。

6　「現職等」欄は、次の事項に留意して記入してください。
「職種等」…該当するものを〇で囲んでください。
「名　称」…現職者は、勤務先等を具体的に記入してください。
　（例　**〇〇市立〇〇小学校（職名等：教諭）**など）
　学生及び研究生は、大学名等を記入してください。
　（例　**〇立〇〇大学４年（職名等：学生）**など）
「住所等」…都道府県名は、**現職者は「勤務地」、学生及び研究生は「学校所在地」、無職の者は「居住地」、外国人は「国名」**を記入してください。なお、現職者については勤務先の電話番号等も記入してください。

その他申請書類（所定用紙）

1	長期履修申請書 （フレックスクラス）
2	小中連携教育プログラム受講申請書
3	理数系教員養成特別プログラム受講申請書
4	ダブルディグリープログラム受講申請書

以上一式

（注１）申請を希望する者は、選抜試験の出願書類と併せて
出願用封筒に入れて送付してください。

（注２）小中連携教育プログラムの受講申請受付は、
８月選抜及び11月選抜のみ行います。

（注３）理数系教員養成特別プログラムの受講申請受付は、
８月選抜及び11月選抜のみ行います。

（注４）ダブルディグリープログラムの受講申請受付は、
８月選抜のみ行います。

過去の入学試験問題について

1　本学の web サイトに令和２年度の入学試験問題（筆記試験）を公開しています。
※令和３年度以降の入学試験問題（事前課題含む）は非公表です（筆記試験を実施していないため）。
https://www.hyogo-u.ac.jp/（⇒入試情報・大学院学校教育研究科・過去の入試問題）

2　送付はできませんが、本学附属図書館、神戸キャンパスで閲覧することができます。

附属図書館　TEL：0795－44－2062

区　　分	利 用 時 間
月～金曜日	８：30 ～ 22：00
土・日曜日・祝日	10：00 ～ 17：00

休館日：年末年始・大学入学共通テスト試験日・学部及び大学院の選抜試験日
上記の他、臨時に休館することがあります。詳細については本学 web サイト（https://opac.hyogo-u.ac.jp/drupal/）でご確認ください。

兵庫教育大学神戸キャンパス　TEL：078－361－5023
（神戸市中央区東川崎町１丁目５－７　神戸情報文化ビル３階）

区　　分	利 用 時 間
月～金曜日	９：00 ～ 22：00
土・日曜日・祝日	９：00 ～ 18：00

※夏期および年末年始の休業期間中は閲覧できません。
※神戸キャンパス移転後の閲覧方法・閲覧可能時期については、詳細が決まり次第、本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/master/past_exam.php）でお知らせします。

入学試験成績の開示について

令和７年度大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）入学者選抜試験の成績について、受験者本人からの請求に限り、開示を行います。

1　開示請求の方法

460円分　※令和6年10月1日からの郵便料金の値上げに伴い、切手の代金が変更となりました。

本学 web サイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）から「大学院入学試験成績の開示請求書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、**「受験票」**及び**「返信用封筒」（長形３号封筒に返信先を明記し、~~434円分~~の切手を貼付したもの。封筒の表に「大学院入学試験成績の開示書類在中」と朱書。）**を同封し、**簡易書留郵便**により入試課へ送付してください。

《送付先》　〒673－1494　兵庫県加東市下久米942－１
兵庫教育大学　入試課

2　開示請求の期間

次の期間内に**必着**するよう開示請求してください。

［８月選抜］令和６年９月17日（火）～令和６年９月30日（月）
［11月選抜］令和６年12月９日（月）～令和６年12月20日（金）
［３月選抜］令和７年３月24日（月）～令和７年４月４日（金）

3　開示内容

志望別の事前課題得点、口述試験得点、総得点、順位

4　開示方法

開示内容を記載した書面を、簡易書留郵便で受験者本人あてに送付します。

5　その他

・申請に際しては、本学受験票が必要となります。
・不明な事項があれば、入試課へ問い合わせてください。

問い合わせ先

入試に関する事項	入　試　課	0795－44－2067
授業内容及び教員免許状に関する事項	学　務　課	0795－44－2040
奨学制度に関する事項 （入学料免除・授業料免除及び奨学金）	学生支援課	0795－44－2051
学生寄宿舎等に関する事項	学生支援課	0795－44－2050

web サイトアドレス

https://www.hyogo-u.ac.jp/

令和7年度入学 大学院説明会日程

■ 8月選抜に向けて

令和6年　5月11日（土）…… 本学（加東キャンパス）※臨床心理学コース以外
令和6年　5月25日（土）…… オンライン
令和6年　6月 8日（土）…… オンライン ※臨床心理学コースのみ
令和6年　6月17日（月）～6月21日（金）…… オンライン（個別相談のみ）
令和6年　6月29日（土）…… オンライン

■ 11月選抜に向けて

令和6年　8月31日（土）…… オンライン ※臨床心理学コースのみ
令和6年　9月 9日（月）～9月13日（金）…… オンライン（個別相談のみ）
令和6年　9月21日（土）…… 本学（加東キャンパス）※臨床心理学コース以外
令和6年　9月27日（金）…… オンライン

■ 3月選抜に向けて

令和6年　11月30日（土）…… オンライン
令和6年　12月 9日（月）～12月13日（金）…… オンライン（個別相談のみ）

※気象警報等が発令された場合や不測の事態等により、説明会を中止または変更する場合があります。
最新の開催状況については、webサイト(https://www.hyogo-u.ac.jp/)でご確認ください。

説明会は、教職員との個別相談、在学生の体験談等により構成しています。
詳細は、webサイト（https://www.hyogo-u.ac.jp/）をご覧ください。

HYOGO UNIVERSITY OF
TEACHER EDUCATION

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673−1494 兵庫県加東市下久米942−1
https://www.hyogo-u.ac.jp/
電話：0795−44−2067（入試課）
E-mail:office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp
（入試課）

兵庫教育大学
webサイト